

# 償却資産申告書の記入例

**<1. 住所>**  
住所(又は納税通知書の送付先)及び電話番号を正確に記入してください。

**<2. 氏名>**  
個人の場合、記名してください。  
法人の場合、名称及び代表者氏名を記入してください。

**申告年度を記入してください。  
例:令和8年1月1日現在の所有資産を申告する場合⇒「令和8年度」**

**受付印**  
令和 8 年 1 月 18 日  
(宛先) 可児市長

**所 有 者**  
 1 住 所  
 (ふりがな)  
 可児市広見一丁目1番地  
 (電話) 0574-62-△△△△  
 2 氏 名  
 (ふりがな)  
 可児 株式会社  
 代表取締役 可児 太郎  
 (屋号)

**申告書の記入箇所**

**令和 8 年度**

**償却資産申告書(償却資産課税台帳)**

**8~14**  
該当する方に○をつけてください。

**※宛名番**  
市町村コード 214

**第二十六号様式**

**資産の種類**

資産の種類	取 得 価 額												
	前年前に取得したもの(イ)			前年中に減少したもの(ロ)			前年中に取得したもの(ハ)			計((イ)-(ロ)+(ハ)) (ニ)			
1 構築物	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	
2 機械及び装置	30 546 000			628 000									
3 船舶													
4 航空機													
5 車両及び運搬具													
6 工具、器具及び備品	6 275 000			457 000			2 478 000						
7 合 計	36 821 000			1 085 000			2 478 000						

**資産の種類**

資産の種類	評価額(赤)			決定価格(青)			課税標準額(下)						
	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	十億	百万	千	円	
1 構築物													
2 機械及び装置													
3 船舶													
4 航空機													
5 車両及び運搬具													
6 工具、器具及び備品													
7 合 計													

**(ホ)(ヘ)(ト)欄は記入する必要はありません。**

ただし、電算処理による全資産申告をされる方は記入してください。電算処理と市の計算に差額が発生する場合は、市の計算を採用します。

**<3. 個人番号又は法人番号>**  
個人は個人番号(12桁)を、法人は法人番号(13桁)を記入してください。

**<4. 事業種目>**  
具体的に記入してください。

**<6. この申告に応答する者の係及び氏名>**  
申告書の内容等に関する問い合わせをする場合がありますので、その際に直接応答できる方の氏名及び電話番号を記入してください。

**<7. 税理士等の氏名>**  
申告書の作成を税理士等に委託している場合は、税理士等の氏名及び電話番号を記入してください。

**<18. 備考>**  
申告について参考となる事項がある場合は、記入してください。

該当する場合は○をつけてください。

1:前年中の資産の状況から増減がない場合  
2:該当する資産がない場合  
3:廃業、解散、事業所が可児市内になくなった場合等(その年月も記入)

**<15. 市(区)町村内における事業所等資産の所在地>**  
市内の資産所在地を記入してください。  
2箇所以上ある場合、それぞれを記入してください。

**<16. 借用資産>**  
借用資産(リース資産)の有無について該当する方に○をつけてください。  
※有の場合は、貸主の氏名、名称等を記入してください。

**<17. 事業所用家屋の所有区分>**  
該当する方に○をつけてください。